

●千養寺（黒田助千手観音）

千養寺は、嘉祥3年（850年）に慈覚大師が千手観音像を刻み開基したもので、藤原清衡によって本堂が再建され、祈願寺にしたと伝えられています。

千手観音像が安置されている本堂は、県の有形文化財に指定されています。また、境内にある「梵鐘」は市の有形文化財に、「かやの木」は市の天然記念物に指定されています。



●出羽神社

羽黒山の頂に祀られている出羽神社は、延暦年間に坂上田村麻呂が、この地方の首領であった阿豆流為を征伐するため羽黒山大権現（山形の出羽三山）に立願し、征討の功を得たことから勧請したとされています。

境内周辺は、杉や松の巨木が生い茂り、荘厳なたたずまいとなっています。

●高清水

崖下のすきまからしみ出るように湧いているこの地は、康平5年に八幡太郎源義家が征夷大將軍として蝦夷征伐（安倍貞任追討）に来たとき、矢じりで掘ったところ泉が湧きだしたとされているところです。

ここから千養寺まで続く道の途中には、休憩所があり、遠く奥羽山脈の山並みを眺望することができます。



主な興味地点

Course Guide



主要観光行事

獅子舞
2月8日
開催場所
千養寺



●獅子舞

当コースのお問い合わせ・ご連絡先
岩手県水沢市生活環境課

〒023-0053 水沢市大手町1-1
☎ 0197-24-2111

新・奥の細道

NEW OKUNOHOSONICHI MIZUSAWA

東北自然歩道（東街道を訪ねるみち）

環境庁・岩手県



このコースは古くからあった「東街道」と言われる道が基になっています。

「東街道」は、奈良時代からあった道で、陸奥の菊多関（福島県）から多賀城国府（宮城県）を経て、更に北上川を北上して岩手に入り、磐井、江刺、稗貫を通過して紫波へ続く道でした。

その昔、征夷大將軍「坂上田村麻呂」や蝦夷の首領「阿豆流為」などが、戦いの攻防に駆けめぐった道とされています。また、仏教文化もこの道を通じて伝えられました。

(Course Time)

起点・磐城	2.0km 45分	高清水	2.2km 55分	千養寺(黒田助千手観音)	1.5km 30分	山の神神社
1.1km 30分	中清水根観音	1.2km 30分	出羽神社	1.0km 25分	バス停馬形・終点	



Course Map

1
25,000



「この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の25,000分の1地形図を複製したものです。
〔承認番号 平10紙環第 513 号〕」